

労災かわらばん

2005

—冬号—

Vol.15 発行日／平成17年2月10日 編集／釧路労災病院新聞局

「病院の理念 勤・基本方針と 労者医療の 推進」



院長 小柳 知彦

釧路労災病院はその理念として「最新の知識と技術に基づいた的確で、親切な信頼される医療の実践」を掲げ、その上で1. 最新の知識・技術の習得のもと、安全で質の高い医療、2. 患者さんの視点での親切な対応とわかり易い説明の医療、3. 高い透明性と情報公開、4. 予防医療活動で地域住民と勤労者の健康増進の4つを基本方針としました。20世紀初頭、ベッドサイド教育の重要性を指摘、患者中心の医療を実践、近代臨床医学の祖とされるウィリアム・オスラー卿は医学・医療はサイエンスに基づいたアートであるとしました。一方、彼は著書「平静の心」で古代哲学者ヒポクラテス、プラトナーらの教えを引用し、我々が生涯学び続けなければならないものとしての確かな判断力、正直・誠実、そして人間性を説いています。効率とスピードが求められる現代社会でもすれば古い教えは忘れがちです。しかし、これらの短い言葉の中に今、病院に求められているものがあると考え上述の理念・基本方針としました。知識と技術、サイエンス、言い換えると科学的根拠、エビデンスに基づいた的確で親切・信頼される医療、つまり十分に患者さんの訴えに耳を貸し、共鳴し、説明するというアートを実践する真にオスラーの説く医学医療を実践するのが私達の理念であるとしたわけです。次いで基本方針では、1. 知識と技術の為に生涯学習を継続、的確な判断力を養う事を、2. 患者さんの視点で、親切で判り易い人間性溢れる医療の実践を、そして、3. 高い透明性、情報公開を通じて正直で誠実な医療を実践するとし医学の父ヒポクラテスの教えをともし相通じるものとなっています。

昨年4月、労働福祉事業団は解散、独立

理 念

最新の知識と技術に基づいた的確で、親切な信頼される医療を実践します。

基本方針

1. 最新の知識と技術の習得に研鑽し、安全で質の高い医療を実践します。
2. 患者さんの視点で、親切な対応、わかりやすい説明の医療を実践します。
3. 医療の高い透明性を目指し、情報の公開に努めます。
4. 検診などの予防医療活動で、地域住民と勤労者の健康づくりに貢献します。

患者の権利

1. 適切な医療を受ける権利
2. 人権を尊重される権利
3. プライバシーを保障される権利
4. 医療上の情報、説明を受ける権利
5. 医療行為を選択する権利

行政法人労働者健康福祉機構となりました。労災病院の呼称は変わりませんが、私達が担う役割として従来通り質の高い医療を一般診療にて地域へ提供することに加えて、労災病院の予防・治療・リハビリテーションに至る勤労者医療で中核的機能を担う事が従来以上に明確化されました。これを受けて勤労者医療総合センターを立ち上げました。勤労者予防医療部は健康相談・生活・栄養・運動指導啓発などによる過労死予防対策、心の電話相談・対面型カウンセリングによるメンタルヘルス不全対策を担い、労災疾病研究室は労災疾病12分野の研究・臨床データ集積解析ですが、本院では働く女性をテーマにしています。一方、地域医療連携室は研修会を通じて、モデル医療活動・産業医認定講習会・ネットワーク形成にて地域医療機関に対して、勤労者医療の支援、行政との窓口としても機能します。こうした勤労者医療総合センターを通じた活動を基本方針の4番目に明示しました。不採算部門ですが予防医療、普及啓発活動にて健康増進、生活習慣病の改善が得られれば医療費の抑制に連なる筈です。また地域医療連携室がフルに活動する事で勤労者医療の枠を超え、一般診療での地域医療連携室と機能的融合が計られます。これは今日、医療に求められている病診・病々連携はもとより、ナース・薬剤師等の医療専門職連携、あるいは、疾患別連携など各レベルで連携し合う網目状ネットワークの構築に連なる事が期待され、地域医療への貢献は大だと思います。

私達職員一同はこれからも地域から信頼され親切的な病院たるべく努力を怠りませんのでよろしくお願い致します。

形成外科の定義「身体外表面の先天性あるいは後天性的形態及び機能異常を、外科的手段で健康近くに修復を行う診療科」

整形外科の定義「人体の運動器の病変や外傷を取り扱う診療科」

簡単に言えば、形成外科は身体外表面を扱う科、整形外科は骨、筋肉など運動器を扱う科です。中国では整形外科は「骨科」とよばれ、形成外科は形を整えるということとで「整形外科」と呼ばれています。また韓国では形成外科は「成形外科」と呼ばれていることもあり、日本においても混同されてしまう傾向にあります。

Q. 形成外科ではどんな病気を扱うのですか？

大きく4つに分れます。

1. 外傷（けが）
2. 外傷先天異常（生まれつきの外表異常）
3. 腫瘍切除、手術後再建（組織の欠損を作り直すこと）
4. 美容外科 の4項目です。

具体的形成外科で扱う疾患をあげてみます。

1. 外傷（やけど）、化学損傷、挫創、擦過傷、凍傷、電撃傷、外傷性刺青、癰疽、ケロイド、癒着拘縮、顔面骨折
2. 外傷先天異常
3. 頭蓋縫合早期癒合症、眼瞼下垂、睫毛内反、眼瞼外反、鞍鼻、斜鼻、口唇裂、口蓋裂、咬合不全、多指症、合指症、小耳症、副耳、埋没耳、折れ耳、漏斗胸、鳩胸
3. 腫瘍・再建

皮膚腫瘍、皮下腫瘍、軟部組織腫瘍、単

外来紹介 Part14

形成外科

Q & A

部長 鈴木 裕一

外科診療において、患者様から良く受ける質問についてまとめてみました。形成外科を受診される際には是非参考にして下さい。

Q. 形成外科ってどんな科ですか？

形成外科は英語で Plastic surgery といいます。Plastic は形を直す、もしくは形を新たに作るという意味です。つまり、形成外科とは主に体の表面の形を整えたり、新たに作ることを行う診療科であります。

Q. 形成外科と整形外科はどのように違うのですか？

形成外科の定義「身体外表面の先天性あるいは後天性的形態及び機能異常を、外科的手段で健康近くに修復を行う診療科」

整形外科の定義「人体の運動器の病変や外傷を取り扱う診療科」

簡単に言えば、形成外科は身体外表面を扱う科、整形外科は骨、筋肉など運動器を扱う科です。中国では整形外科は「骨科」とよばれ、形成外科は形を整えるということとで「整形外科」と呼ばれています。また韓国では形成外科は「成形外科」と呼ばれていることもあり、日本においても混同されてしまう傾向にあります。

Q. 形成外科ではどんな病気を扱うのですか？

大きく4つに分れます。

1. 外傷（けが）
2. 外傷先天異常（生まれつきの外表異常）
3. 腫瘍切除、手術後再建（組織の欠損を作り直すこと）
4. 美容外科 の4項目です。

具体的形成外科で扱う疾患をあげてみます。

1. 外傷（やけど）、化学損傷、挫創、擦過傷、凍傷、電撃傷、外傷性刺青、癰疽、ケロイド、癒着拘縮、顔面骨折
2. 外傷先天異常
3. 頭蓋縫合早期癒合症、眼瞼下垂、睫毛内反、眼瞼外反、鞍鼻、斜鼻、口唇裂、口蓋裂、咬合不全、多指症、合指症、小耳症、副耳、埋没耳、折れ耳、漏斗胸、鳩胸
3. 腫瘍・再建

皮膚腫瘍、皮下腫瘍、軟部組織腫瘍、単

純性血管腫、海綿状血管腫、頭頸部がん切除後の再建、乳がん切除後の再建、顔面神経麻痺

4. 美容外科

二重まぶた、隆鼻術、しわとり、脂肪吸引、わきが、豊胸術、包茎手術

5. その他

皮膚潰瘍、褥瘡（床ずれ）、糖尿病性壊疽、巻き爪、陥入爪

Q. 美容外科と形成外科は違うのですか？

前述した通り、美容外科は形成外科の一分野で、独立したものではないという考え方が一般的です。美容外科が標榜されていなくても、修練を積んだ形成外科の専門医は美容外科の技術も合わせ持っています。

Q. 美容外科でしたらかなり高額な金額がかかりますが、保険は効くのでしょうか？

一般的には美容外科は高額なイメージがあり、保険は効きません。しかし美容的な手術であっても保険の対象となる手術もかなりありますので、詳しくは担当医にご相談ください。

Q. 育成医療とは何ですか？

18歳未満の身体に障害のある児童、又は現存する疾患がこれを放置すれば招来障害に至ると認められる児童のうち、確実に治療効果が期待できる場合が対象となります。具体的対象疾患は、小耳症、口唇裂、口蓋裂、合指症、多指症、漏斗胸、熱傷癒着拘縮等の疾患がこれに該当します。ただし、厚生大臣の認可を受けた医療機関（指定育成医療機関）に限定されています。

